



共同通信

東京写真記者協会
創立70周年記念

スポーツ報道写真展

～スポーツのドラマ
時代の記憶～

1948年(昭和23年)に発足した東京写真記者協会は、今年で創立70周年を迎えます。

カメラを通じた「時代の目撃者」として戦後のニュース報道の一翼を担ってきました。

この写真展は過去に取材したスポーツ写真に特化し、数々のアスリートが残した名場面を集めて「時代の記憶」を呼び起こします。

2018.3.2 (Fri.)～4.10 (Tue.) キヤノンギャラリー S、キヤノンオープンギャラリー 1

開館時間 10:00-17:30 休館日 日曜・祝日 入場無料

主催 東京写真記者協会 後援 スポーツ庁/公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC)



戦後、連合国軍に占領されていた期間の日本では、新聞発行については同総司令部 (GHQ) 新聞課の検閲が必要でした。その新聞課責任者から1948年初め、「米国ワシントンにある写真記者協会と同様の組織を作る努力を」といった申し入れがあったと当協会の記録に残っています。戦争責任者に対する「東京裁判」といわれる極東国際軍事裁判が行なわれていたことや、新聞発行各社からの様々な申し入れや要求に担当者が困って、窓口の一本化が必要だったのではないのでしょうか。

以来70年間、東京写真記者協会加盟社は「時代の目撃者」として、戦後の取材活動の一翼を担い、先人たちが実践してきた「自主取材を原則に、人権を尊重、良識ある公正な取材活動」を堅持してきました。

この写真展では70年間のニュースから感動とともに伝えられたスポーツシーンを選び出しました。五輪やパラリンピックだけでなく、プロ野球、サッカーをはじめ、多くの種目をコーナー別に展示します。

トークイベント「五輪取材の舞台裏」(仮題)

講師:梅村直承

(毎日新聞北海道支社報道部写真グループ記者。リオ五輪400Mリレー「ケンブリッジ飛鳥選手を見やるウサイン・ボルト選手の一瞬をとらえた写真」で2017年日本新聞協会賞、2016年に東京写真記者協会賞グランプリ受賞)

日時:2018年3月3日(土)14:00~15:30

会場:キヤノン S タワー3F キヤノンホール S

お申込み:canon.jp/galleryより(先着300名/無料)

CANON GALLERY S

キヤノンギャラリー S は、デジタルイメージングの楽しさ、映像表現の無限の可能性を体感していただくためのアートスペースです。話題のアーティストによる作品展を順次開催して参ります。

- 開館時間:10時~17時30分、休館:日曜・祝日、入場無料
- JR品川駅港南口より徒歩約8分
京浜急行品川駅より徒歩約10分

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

CANON S TOWER

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

TEL.03-6719-9021

canon.jp

